



## 立北小の新たなチャレンジ！

カラーロードで育てている1年生のアサガオたちも、中庭で育てている2年生の夏野菜たちも、毎日お世話している子どもたちの愛情が肥料となって、元気に育ってきました。



先月から、立北の子どもたちがあることにチャレンジしています。それは、プレイタイムや昼休み終了前に流れていた音楽を廃止したことです。理由は、すぐに教室に入れる人もいれば遊びの片づけが必要な人もいること、そして、次に向かう場所が人それぞれで違うこと。要は、時計を見て音楽が鳴らなくてもそれぞれが判断して行動できるようになろう…というのが狙いです。特に5、6年の高学年は責任重大です。チャレンジしようとする子どもたちと先生たちをどうぞ応援してください。



## 7月のテーマは「暑さに負けないからだをつくろう」



『暑熱順化』という言葉をご存じでしょうか。夏の初め頃、暑い空気にふれ、汗をいっぱいかくことによって、暑さに体を慣らしていくことを意味しているそう



うです。熱中症予防のために水分をしっかりと補給することは多くの子どもたちが意識できるようになりました。しかし、子どもたちにとって次に大切なことは、休み時間等には外に出て、暑い空気にいっぱいふれること、そして汗をいっぱいかいて体の熱を外に放出する働きをしっかりと高めることです。涼しいところでずっと過ごしては、この機能は身につきません。3日の朝会で全校生に手を挙げてもらいました。すると「暑いのは苦手」という人は全体の約70%もあり、「暑いのは平気」という約30%を大きく上回りました。最近、外で遊ぶ子どもが減ってきた理由がわかる気がしました。私は、子どもたちに言いました。「残念ながら、日本の夏は暑いと決まっているのです。8月は35度をこえる日も出てきますよ。それに向け、7月はしっかりと暑さに負けない体を作っていくことが大事です。」この日、昼休みが終わり、汗を噴出しながら掃除場所にやってきた子どもたちが、「エアコン最高！」と言いながら、一生懸命そうじに励んでいました。打てば響く立北の子どもたち、素晴らしいです。

立花北小学校の学校教育目標は、『ゆたかな心とたくましいからだをもつ子どもの育成』です。子どもたちには、元気な体はもちろん、その場の状況で自分の行動をしっかりと判断できる力も育ててほしいと思います。ご家庭におかれましても、盛夏に向け【しっかり食べる】【しっかり運動する】そして【しっかり眠って疲れをとる】の三つについて、ぜひぜひご協力いただけるとありがたいです。